

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



花香る桜満開！！ (穴山さくら公園)

『新年度に向けて』



日本に昔からある言葉で「一年の計は元旦に有り」を知っていますか？

いろいろな解釈はありますが、私は「年のはじめ元日は、これから始まる一年を有意義に過ごすために、過去の一年を振り返り、これから一年をどのように過ごすのか、目標や課題を設定し意欲を持ってスタートすべき大事な日」と解釈したいと考えています。これは、経営学で言うPDCAと同じ発想であり、そのような学問が日本に入ってくる前から、日本人はことわざとして日常生活の中で取り入れてきたおどろくべき国民だと思えます。

人間の一生の時間には限りがあり、その限られた人生の時間をただなんとなく過ごすのではなく、これまで生きてきた時間を振り返り、そこに何かを感じ、何かを学び、それを反映させた目標を定め、それに向けて生きていくことが大切なことだと思います。

ただ、自分の経験や生きた道だけ振り返っても、そこで得られることには限界があります。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という言葉がありますが、自分の経験だけでなく、可能な限り多くの人達や先輩が生きてきた道、つまり社会や歴史に学びこれからの行動に反映させることが大事だと思っています。

私は「人は誰でも幸せを求めて生きている」と考えていますが、「何が自分にとって幸せなのか」と考えている人は少なく、多くの人はただ漠然と「日々を過ごしている中で、自然に或いは誰かが自分にとって幸せな環境を作り幸せを運んで来てくれる」と思い込んでいるのではないのでしょうか。そんなお目出たい人がこの世界にいるわけがありません。

幸せな環境、自分の幸せは1人1人が自分も参加して知恵を出し合い、力を合わせ行動し自分の努力で築いていくしかないのです。

その為に大切なことは、社会の一員として自分の位置づけを確認し、理解し、自立に向かって自己成長を図ることを始めなければならないと思っています。

4月は法人にとっての元日であり、昨年の反省を生かし、新たな目標に向かって進んでいく大事な月です。

社会福祉法人信和会 理事長

栗原 信

3月の理事会・評議員会において30年度の法人の目標が決まりました。

1. 地域での計画的な福祉基盤の確立と制度の確立と制度改革の働きかけ

平成30年度の障害福祉サービス、介護サービス報酬改定を受けて、行政の基本的な方向性を理解したうえで、地域のニーズや法人の特性を生かし、新しい施設基盤を提案する。

2. 経営管理の強化と福祉サービスの質の向上

法人方針から各施設運営への反映、さらには、職員個人への行動目標へ落とし込むことでの施設管理の強化を図り、職員に目的・目標を意識した活動を推進することでサービスの向上を図る。

3. 福祉人材の確保・育成・定着の推進と職場環境の向上

一般企業との競合を意識して社会福祉法人としての存在意義や魅力をアピールし人材確保に努め、さらに社内・社外研修を積極的に展開し育成や定着化を推進する。他施設間の職員交流、連携も図り全体の底上げを図る。

4. 地域への貢献活動に向けての環境づくり

地域における総合相談や生活支援体制への対応を図り、地域住民との地域コミュニティへの参加環境を醸成する。

5. 大規模災害と防災への対応強化

法人全施設及び穴山地域を包括した防災対応を検討し、相互協力できる体制づくりを図る。また、韮崎市との防災体制や組織とも連携して広域的な協力体制を推進する。

以上の5つの目標に向かって、今年度、進んでいきたいと思っています。

皆さんもこれまでを振り返り、歴史に学び、その学びを元に明日からの目標を設定し、それに向かって積極果敢に行動することを期待しています。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日：平成30年 3月17日(土)
開催場所：穴山の杜 会議室
審議事項：第1号議案 平成29年度 補正予算(案)について
第2号議案 平成30年度 事業計画(案)について
第3号議案 平成30年度 予算(案)について
第4号議案 諸規定変更について



平成29年度第3回理事会・評議員会を開催いたしました。補正予算については、杜ショート・わ〜く穴山の里の収入増が見込まれ、処遇改善費も増額したことから全体としてプラス補正となりました。事業計画については、法人としての中期計画も提案し、各事業所についてもご利用様の満足度や機能向上などを第一に考えた計画を報告いたしました。来期予算は、3年に1度の報酬改定に準拠した予算を作成し、収入面では重度障害支援加算の増額や事業所収入の増額となりますが、支出面において職員採用や各施設の修繕費がかさむことにより、7百万円ほどの事業費マイナスとなる報告をいたしました。諸規程の変更につきましては、有期雇用から無期雇用転換制度を反映させた就業規則変更や共同生活の就業規則新設などをご説明させていただきました。各議案毎に理事・評議員の皆様よりご承認頂き、終了いたしました。今年度もよろしくお願い申し上げます。

辞令交付式

平成30年度の辞令交付式を学卒者5名、新規採用者2名を迎え実施致しました。

栗原会長のご挨拶を始め、理事長より一人一人に辞令が交付され新採用職員全員身の引き締まる思いを感じることが出来ました。

新入職員を代表して堤みなみさんが「行動・調和・繋がり大切にし連帯感をもって業務に取り組みます」と決意を表明し、社会人として、信和会の一員としてのスタートを切りました。また、同時に開催された勤続表彰では6名の職員に永年に渡り勤務されたご苦労と感謝を込めて賞状並びに記念品の贈呈を行いました。受賞されました皆さんおめでとうございます。



新規採用者と昇格者



勤続表彰受賞者

第33回 韮崎市 社会福祉大会 表彰

2月23日 第33回韮崎市社会福祉大会が開催され、記念講演並びに永年に渡り福祉に従事された職員の表彰が行われました。

当法人からも7名の職員が表彰され穴山の里小林主任が登壇し、障がい分野の代表として受領致しました。

受賞されました職員さんの益々のご活躍を祈念致します。



研修会

辞令交付に続き、新人職員は早速研修に入りました。学生と社会人。学校と会社。まずは気持ちの入れ替えからスタートです。社会人として大切なひとつとして「報・連・相」と「PDCAサイクルの活用」があり



ます。初めての事ばかりで、戸惑いも多い時間でしたが、一つ一つ積み上げて頑張っていました。※抱負は最終ページをご覧ください

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



キャンプ場清掃



穴山の里では毎年、北杜市内にあるキャンプ場の「ウッドペッカー」へ行き、キャンプ場内の整備活動を行っています。主に落ちていた葉や木の枝などを拾い集め、キャンプ場のスタッフやオーナーさんたちと協力しながらアウトドアシーズンに向けて大自然の中、一生懸命環境整備を行いました。



なかよし会

新年会



1月14日に「なかよし会 新年会」を行いました。

レクリエーション活動として風船バレーをして交流を深め、お昼には美味しいお寿司を食べました。

その後は、今年も一年間良い年になるように祈念して、みんなで今年の抱負をそれぞれ発表しました。



どんど焼き



1月14(日) 穴山の里グラウンドにて、「どんど焼き」を行いました。利用者さんと職員とで準備を行い、正月の松飾りや注連縄を燃やし一年の無病息災を祈願しました。肌寒い日でしたが景気よく燃える炎とともに立ち上る煙に乗って正月の神様たちがお帰りになりました。また、どんど焼きの後は甘酒が提供され、冷えた身体が温まり、利用者さんたちからは「おいしい」と好評でした。



節分

2月4日、季節行事である節分の豆まきを行いました。節分の由来を知り興味を抱く利用者さんや、鬼が出て来るのを楽しみに豆を手待ち構えている方も見られました。

風邪などが流行する時期でもありましたので、鬼が登場すると一斉に豆を投げつけ鬼とともに邪気も追い払い、その後は切山椒や豆を食べて今年も皆で元気に楽しみました。



ひまわり班外出



2月8日に「ひまわり班」の利用者さんたちが揃って、日ごろの活動の疲れを癒すために石和健康ランド（笛吹市石和町）へ行ってきました。水晶のお風呂や樽風呂など種類豊富な温泉に浸かり楽しみながら癒されました。

その他にも御食事やカラオケと充実した1日を過ごす事ができました。



味噌作り



雑菌が繁殖しにくい厳寒期は「お味噌づくり」に最適なため、早朝からスタッフと農業奉仕班を中心とした利用者さんとで、里で栽培した大豆を原料としてお味噌を作りました。今年は教育実習中の聖セシリア短期大学の実習生にもご協力をいただき仕込みました。

大豆を蒸してつぶし、それに麦と米で作った麴と塩を加えて混ぜ、発酵・熟成させて作ります。美味しく食べられる2年後が楽しみです。

桃の摘蕾作業



蕾（つぼみ）を摘むことを摘蕾（てきらい）と言いますが、皆さんはなぜ行かご存知ですか？

一般的に桃の木の花数は実の20倍と言われていいます。たとえば1,000個実がなるとすると20,000個蕾が付いていることとなります。そのため余分な蕾を摘みとることにより栄養が浪費することを防ぎ、枝の成長や実の肥大促進を図ります。穴山の里でも冬の時期に職員がコツコツと作業を行いました。これから綺麗な花を咲かせて欲しいですね。

【クラブ紹介】

合唱クラブ

- 日中の余暇活動の一環として
- 「合唱クラブ」では穴山の里利用者さんと穴山町の地域ボランティアの方々とで毎月2回集まり、阿部光雄先生のご指導の下、主に季節に合わせた童謡曲を毎回練習しています。また、夏の「信和会地域ふれあい祭り」や秋の「穴山町文化祭」では、地域交流を目的に『ほのぼの合唱団』を結成して毎年参加し日頃の練習の成果を発表しています。皆さま、これからもほのぼの合唱団を宜しくお願いいたします。



◎GW期間中の臨時帰省（家庭訓練）について

開設後30年を経過し老朽化した厨房施設等の修繕工事を行うため、ゴールデンウィーク中の下記期間において臨時帰省（家庭訓練）を実施いたしますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、毎回集合場所として利用させていただいております多摩障害者スポーツセンターが改修工事のため一年間利用できないため、「都立神代植物公園」を集合場所とさせていただきますので、お間違えのなきようご注意ください。

記

1. 臨時帰省期間
平成30年5月3日(木)～同年5月6日(日)
2. 送迎バス運行日時
送 り………5月3日(木) 午前10時30分
迎 え………5月6日(日) 午後 1時00分
※GW期間中のため道路状況により予定時刻と遅れ等の場合があります。
3. 集合場所 都立神代植物公園 第一駐車場
(東京都調布市深大寺北町1-4)

～お知らせ～

◎平成30年度保護者会総会について
平成30年5月27日(日) 13時～15時、穴山の里作業棟において「保護者会総会」が開催されます。

穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



“職場の持っている雰囲気” その職場に入った時に感ずる直感的なものです
やわらかい雰囲気のする職場、明るい感じ、なんとなく沈んだ空気感、乱れた職場の感じ等々色々な雰囲気が
ありますが、この雰囲気は一長一短にできるものではありません。職員一人一人が心掛けている所作や礼儀、
言葉遣い、笑顔が利用者を和ませ、職員同士の和を作り出し、そのことが職場（ユニット）の雰囲気を醸し出
しているのです。施設は、職員の職場だけでなく利用者（入居者）とともに生活し働いている場ですから、利
用者にとっても、ご家族にとっても気持ちの良い雰囲気がある職場にしなければなりません。また、職員は常
に厳粛な気持ちで業務遂行を心掛けて、職場の雰囲気向上に努めて欲しい。

10年勤務を迎えて

穴山の杜に勤務し、10年を迎える職員に
振り返ってもらいました

「10年目を迎えて」

(医務)看護師 小林みどり

病院勤務を40年近くしてきたので、常務医師のいない老人施設での仕事は少し戸惑いと不安がありました。
しかし、穴山の杜は母親の生まれた場所の近所だった為か、親近感があり務めさせていただき、10年があつと
言う間に過ぎました。

以前は、看護記録はカルテ記入だったのがパソコン入力になり、オンコールがある為携帯も購入するようにな
りました。機械が苦手な私はどうなるかと心配でした。今でも職員の皆さんに助けをいただきながら頑張ってい
ます。

利用者との悲しい別れもありましたが、ご家族から「穴山の杜で良かった。ありがとうございました」とお礼
の言葉をいただくと、胸が詰まる思いと嬉しさで、看護師を続けていて良かったと思いました。

この度は、勤続10年の表彰をいただき、ありがとうございました。

「10年を振り返り…」

栄養士 小野馨子

信和会、穴山の杜に就職させていただき、4月で10年となりました。誓いの言葉に緊張し、穴山の寒さの洗
礼をいきなり受けた為、入社式は強く記憶に残っております。職員の方々は、世間知らずで無知な自分にも、優
しく指導して下さいました。

1年ほど経った頃、数分前にいつも通りに話していた方が急変し、初めて利用者の最期に立ち会いました。シ
ョックで何も出来ず悔しさを感じました。私たち職員は、高齢者の方々の人生の大切な時間に関わらせていただ
いており、食事は利用者にとって一番と言って良いほどの楽しみである為、少しでも“美味しい、楽しみ”と思
っていただけるよう、施設全体・委託業者と連携していきたいと思えます。

悲しい事や辛い事は多々ありますが、関係職員の方々や家族に支えられて、今まで務める事が出来ました。感
謝申し上げます。また、いつも利用者の笑顔が一番の励みになっています。入社してすぐの行事食の際に「美味
しかったよ、また食べたい」と言っていただけて感動した事を覚えています。利用者に喜んでいただける食事が
提供出来るよう、努めていきたいと思えます。まだまだ未熟者で、様々な面でご迷惑をおかけ致しますが、今後
もよろしくお願ひします。

名言名句から学ぶ

聞くは一時の恥、聞かぬは末代の恥

知らないことを聞くことの恥ずかしさはその時だけのことだが、知らないままで生涯を過ごすことはもっ
と恥ずかしい。日頃から福祉の実情をよく勉強して、何でも知っていて、何でも出来ることが必要で、何
も知らないで行動することは周囲に迷惑をかけることになる。

山梨代表に選ばれました！～山梨県老施協研究総会～

平成30年2月18日にアピオ甲府にて開催された、第9回山梨県老人福祉施設協議会の研究総会において【俺、最期は家で死にたいんだ】【ヒノキ風呂導入から見えた利用者の笑顔】の演題で、2組成果発表を行いました。また、各施設より41グループが体験発表を行った中で、当施設の介護体験発表が優れた内容であったと評価され、本年9月に千葉県で開催される第54回関東ブロック老人福祉施設研究総会に山梨代表として推薦出場することになりました。

【俺、最期は家で死にたいんだ】

平成26年12月に脳出血で入院していたが、病院を退院され、そのまま当施設の空床型短期入所の利用となる。短期入所にあたってご家族の思いとして、事業をしているので在宅介護は出来ないが、少しでも安定すれば、自宅での生活を続けさせたいとの希望があり、「自宅で留守番が出来るように」と目標にし、ご本人とご家族の思いに寄り添った活動の記録です。

発表者：横田春香・成島綾



【ヒノキ風呂導入から見えた利用者の笑顔】

平成28年12月の施設内の介護力向上委員会にて、入居者の家庭にある浴槽と同じような浴槽で普通入浴導入について話し合いを始めた。そこで、まず取り組んだのが職員へのアンケートを実施。メリットやデメリット、賛成・反対意見と様々な考えを募ることができ、ヒノキ風呂導入への準備を整え、その後の導入までの活動記録です。

発表者：功刀望里・伊藤みゆき

穴山でも桜が咲き始めた3月28日の午後、喫茶店が開店しました。今回のお茶菓子は、春らしいピンク色の苺まんじゅうか金つばで、甘酒や抹茶ミルクが用意されました。黄色の綺麗な水仙を眺めながら、利用者や職員との会話も楽しみました。

喫茶店
OPEN



「言の葉研究会」

新入居者や職員も加わり、参加人数が増えました。利用者の作品をいくつかご紹介いたします。

「お母さん」
ただいま お帰りなさい お母さんは末っ子
ただいま お帰り お母さんは男の子
ただいま お帰り お袋は長男
私も同じ お母さん探し

「この人良い人ばかりで嬉しいわ
それに皆が美人ぞろい」

「穴山は噂に聞いた寒いと」
外はしんしん雪景色 今年は私も仲間入り

静かな穏やかな日々を過ごしたい
長生きしたから何も考えず

稜線五十センチ雪降りずして
その下南から北へ

風呂が好き新しい風呂気持ちいい
でも私には檜が匂わない

わ〜く穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp

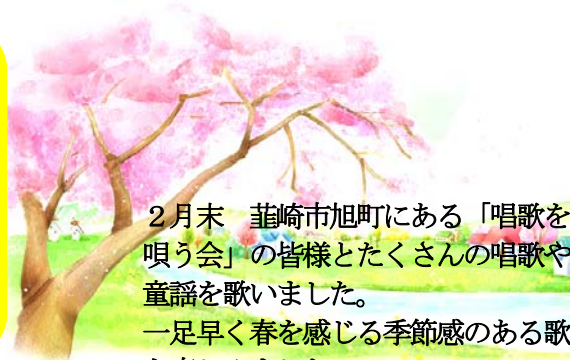


〜地域と繋がる事業所を目指して〜

昨年10月の竣工から半年が過ぎ、見学者も100人を超えました。
今後も多くの方々と交流の持てる場所となり、皆様に親しんでいただける事業所を目指していきます。

繋がる活動の紹介

♪「唱歌を唄う会」 コンサート♪



2月末 韮崎市旭町にある「唱歌を唄う会」の皆様とたくさんの唱歌や童謡を歌いました。
一足早く春を感じる季節感のある歌を楽しみました。



アンサンブルコンサート



3月 韮崎市吹奏楽団の皆様を招いてアンサンブルコンサートを行いました。楽器から奏でられる綺麗な音色に包まれました。

今後の活動にご協力いただける方を随時募集しております。
お気軽にご相談ください。

0551-25-5866 (平賀)



共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866



奄美大島へ旅行に出かけました!

グループホームの利用者様有志で、温帯と熱帯が同居する奄美大島(鹿児島県)を旅行してきました。

一般の旅行ツアーに参加させていただき、二泊三日の行程を楽しんできました。あいにくと曇りや雨の中の観光となりましたが、わずかに広がった晴れ間から自然豊かな南の島の景観に感激し、食べて飲んで踊って、マング

ローブの森をカヌーで探検し、水中観光船でサンゴ礁の魚を眺めて、奄美の旅を満喫しました。ツアー同行の皆様、添乗員さん、ホテルや観光バスなど現地スタッフの皆様のお陰で、安全で楽しい旅行となりました。

あらためまして、この場を借りてお礼申し上げます。 どうもありがとうございました。



穴山の杜シヨート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



3年目に向けて

桜花爛漫1年の中で最高に美しい季節を迎えた4月1日、施設は3年目に向け、新たなスタートを切りました。これからも地域の皆様と共に生き、利用される方々の居心地が良い生活の場が提供できるように努力していきたいと思っております。御祝食として、昼食には海鮮ちらし寿司、山菜茶碗蒸しなどのご馳走をいただきました。新鮮なネタに「美味しい!!美味しい!!」と大喜びされ、殆どの方が完食されました。また2日にはうさぎの紅白饅頭とお抹茶でお茶会をしました。利用者様の中には茶道経験者もおり、楽しい時間を過ごしました。



2月3日新聞を丸めたお手製の豆で鬼を追い払い、福の神を招き入れました。

おやつ作り



3月7日「ウグイス饅頭」を作りました。米粉と青黄粉を混ぜて生地を作り、餡子と薩摩芋を入れて丸めました。大小さまざまな形がありましたが、それも“あじ(味)”。蒸したてのホカホカ饅頭に大満足でした。



レクリエーション

毎回手作りのレクリエーションを企画しています。今回は空き箱を利用して、ホッケーゲームを楽しみました。ボールをはじきながら、協力して連続打ちに挑戦しました!!最初はなかなか続きませんでしたでしたが、最後には100回近くまで続けることが出来ました^^v



音楽鑑賞

3月24日わ〜く穴山の里で開催されたアンサンブルコンサートに参加しました。



手拍子でリズムを取ったり、馴染みの曲には口ずさんだり、音楽に触れ合いました。

AEDの設置

非常事態に備えてAEDを設置いたしました。



学卒新入職員の抱負

今年も多くの新卒職員を迎えることができました。フレッシュな職員の初心の思いをご紹介します



穴山の里 生活支援員 松田久瑠実 (山梨学院短期大学)

短期大学では保育について学んでいました。成人の知的障害についての知識があまりないまま一週間穴山の里で実習をさせて頂きましたが戸惑いは隠しきれませんでした。実習を通し、保育にはない楽しさを体感し就職先として穴山の里を選択しました。利用者さんとの関わりの中で自分自身も社会人として成長していくことを目指し、日々精進していきたいと思っております。よろしくお願い致します



穴山の里 生活支援員 中込心平 (健康科学大学)

社会人一年生として、不安や緊張の中にも新しい環境への期待感をいっぱいに過ごしています。大学で学んだことを少しでも活かし利用者さんが身近に感じて頂ける様な職員として、また、先輩職員の方々の力になれるよう頑張りたいと思っています。社会人として毎日が勉強だと自覚し、励んで行きたいと考えていますので、ご迷惑をお掛け致しますがよろしくお願い致します。



穴山の杜 介護士 深澤冬馬 (優和福祉専門学校)

学校では2年間介護について学んで参りました。利用者さんに「何でもしてあげる」ではなく、「何が本当に必要なのか」を考え、個々にその人らしい生活をおくって頂けるようにチームの一員として誠心誠意努めて参ります。社会人として初心を忘れることなく責任を持って行動致します。これからもよろしくお願い致します。



穴山の杜 介護員 堤みなみ (山梨県立北杜高校)

この春、高校を卒業致しました堤みなみです。辞令交付式では新入職員代表としてご挨拶できたことを大変光栄に思います。緊張致しましたが、はじめての仕事が無事終わることが出来ホッとしています。社会人として初めての職場でわからないことばかりですが、初心を忘れず利用者さんに関わっていければと思います。「接遇・感謝・向上」を忘れずに信和会の一員として頑張りますのでよろしくお願い致します。



穴山の杜短期入所生活介護事業所 介護員 石井ひかる (身延山大学)

私は人と関わる仕事に就きたいと思い、大学で介護について学びました。施設での実習を通して知識や技術だけではなく利用者さんとのコミュニケーションの大切さを学び、その難しさを実感することが出来ました。一つ一つの仕事を職員の皆さんに教えて頂きながら利用者さんが安心して生活できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

感謝録

(平成29年12月16日から平成30年3月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

滝澤 哲・木島廣子・古内保明・石原文世・内藤まゆみ
宮方晴美・柴田正雄・橘田禮子・愛生幼稚園

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・長坂泰子・島津公子・
細窪房美・嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子
(歌謡協力)・田中康子 (絵画指導)・足立悦子・石澤一恵
(ピアノ演奏)・千野公洋 (太鼓)・飯野祐子 (習字講師)・
韮崎スポーツクラブ (金丸・牛山・平賀)・唱歌を歌う会・
韮崎市民吹奏楽団

訪問録

(平成29年12月16日から平成30年3月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎山梨学院短期大学

久保田華・澤絵梨奈・内藤裕太郎・掛川侑里・
清水彩花

◎聖セシリア女子短期大学

横山希良々・湯口萌々香

◎帝京学園短期大学

吉田 開・若林成瑠・保坂葉希・田中優衣